

やまゆり

学校だより

令和5年9月14日
41号
学校長 杉本賢二

校訓 「和の心」
学校教育目標 「社会に貢献しながら自立する生徒の育成」一気づき・考え・実行するー
校内研究重点 「WEBQUを活用し、学級の安定と活性化を図る」

学校教育目標重点 「居心地が良く、やる気のある学級・学校づくり」・「保護者・地域連携」

第49回「若鮎祭」を一人一人が「問う」ことの大切さ

9月9日(土)、10日(日)に第49回「若鮎祭」を開催しました。山本PTA会長をはじめ、役員の皆様、保護者の皆様には多大なご協力を頂きました。本当にありがとうございました。

昨日、1・2校時に学級・全校で振り返りをしました。2校時には、各自が心に残った学びを縦割り班の小グループで発表し、全体でも達成感や人間関係の充実、他者評価等の成果を確認しました。日常の「安定と集団の活性化」を、今後の学習や部活動等に生かします。

体育部門を問う

入場行進・入退場 ○どんな場面でも手を抜かず一生懸命声を出し、足踏みをした

開会式 ○開会宣言・実行委員長の話 やる気の声、熱中症予防・本気のプレー・感謝
○PTA会長の励まし 生徒や学校の活動に寄り添う語り方・支える思い
○選手宣誓 千莉さん・紫龍さん・景己さんの一生懸命さ・ひたむきさ・真剣さ



競技1 長縄跳び

○体育的な能力差がある中で、配慮しながらチームで作戦を立てて取り組んだ意義

A



B



C



競技2 玉入れ

○体育実行委員会の得点方法の工夫 各チームの作戦・誰もが参加しやすい競技の設定



※三浦先生の頭の上に白玉が載っている！

競技3 ドッジボール

○各チームごとに作戦を立て、チームで協力しながら取り組む・勝負事には本気で取り組む



競技4 救急救命法

○体育科の学習の成果を発表しながら、地域に貢献する「人命救助」を生徒を中心に行う。

○山梨県・全国を見渡しても、校医さんやJRC(赤十字)から指導して頂き全校生徒一人一人が実際の救命活動に取り組める活動をしている学校の存在はとても貴重。



地域の方々の積極的参加

倒れている人発見！ 全力疾走



一人一人が自分で実践



人の命を救うための生徒の真剣さを大人も学びたい



修学旅行で救助活動の実績



保護者や地域の方々に生徒が指導



小学生も積極的に参加



研修医の先生も参加



地域の方々と一緒に実演



代表のチームが実演



昨年度の生徒の集団発表を進化・発展。一人が確実に実践でき、地域の方にも参画して頂いた





最後に校医の松田先生の講評。昨年度、今年度と指導し、中学生が確実に保護者や地域の方々に指導できるレベルまで上達している。また、救命に生かした実績もある。着任してから村では、5名の方の心停止が発生。大切な人を救うため、皆で活動を広げたい。

修
の
生
助



研
医
先
が
言

競技5 全員リレー ○走る順番やバトンの受け渡し方の作戦を立て、全力疾走・全力応援！



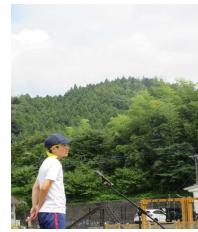
アンカーの3名の力走



○ブロック長の感想発表 体育実行委員のインタビューする形式・思いを大切にする工夫

○体育実行委員長の話 一生懸命競技し感動を得た。チームの協力や一人一人が全力

○外川先生の講評 大学を卒業して教員一年目。本人の力・生徒の良さ・教職員の同僚性



体育の部を終了して校舎玄関で記念撮影 満足感と達成感の笑顔



閉祭式

先輩の演奏を聴く姿勢



3年生太鼓演奏



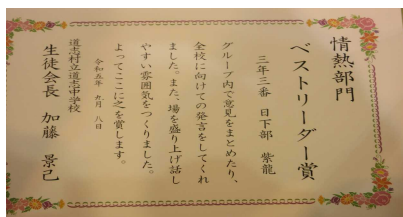
全校太鼓演奏



感想発表 ○3年生だけでなく下級生も表現する意図。心に残る桜愛さんの思い。

スライドショー ○取り組み中の自分と現在と二重の時間。当時の自分や活動を意味づけ。

若鮎祭前日に生徒会執行部が前日に一人一人の努力を表彰し思いを語る場設定



生徒会執行部には三浦先生が表彰

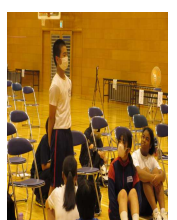


お互いの努力を認め合う生徒

一人一人が自分の思いを表現し聞いてもらう 全校一丸！



一人一人が若鮎祭の自己目標に対して自分の思いを全校生徒の前で表現し、共有する機会



体育の部の本部席での生徒や教職員の思い



体調の悪い生徒がオンラインで参加していた。そのパソコンにも鉢巻を巻いていたことを知る人は少ない。配慮と関わりの質の向上、本人やご家族の努力もあり会場に参加した生徒もいた。

